

R6 芽室町議会実行計画書

(1) 政策課題

(i) 総務経済常任委員会

① ●●●●●●●●



(ii) 厚生文教常任委員会

① 小中一貫教育を含めた将来的な教育環境の整備

少子化が進む中、次世代を担う子どもたちを学校現場そして地域全体で、いかに育てていくかは喫緊の課題である。本町における教育を取り巻く諸課題についての実態把握をすすめ、小中一貫教育、令和8年度までを計画期間とする芽室町立小中学校配置計画など将来的な芽室の教育環境整備のため調査研究を進める。

② 誰一人取り残さない防災体制の構築

災害時における、障害の特性に配慮した福祉避難所の充実等の要望を保護者団体から毎年受けている。障害者とその家族が、災害時に迷うことなく避難行動がとれる体制づくりは急務である。「誰一人取り残さない防災体制」の構築に向け、調査研究を進める。

進捗工程表

達成時期：R 7 年 3 月

所管委員会：厚生文教常任委員会

施策（事業）名：誰一人取り残さない防災体制の構築

[取組内容]

- ① 先進地事務事業調査
- ② 関係機関からの意見聴取
- ③ 委員討議、総括

【現状】

- 町が定める「芽室町民避難行動原則」では、障害者も一般の指定避難所への避難が原則とされており、保護者団体からは長年、避難行動への合理的な配慮を求める声がある
- 町は今年度から障害者に配慮した福祉避難所を指定したが、1事業者との協定に留まっており、当事者ニーズを満たすにはさらなる福祉避難所拡充策が必要である
- 個別(避難)計画策定が進んでいない

【目指す姿(目標)】

- ①障害者とその家族が、災害時に迷うことなく避難行動をとることができるよう、福祉避難所の充実を図る
- ②災害時に支援が必要な住民ごとの個別(避難)計画の策定を推進する
- ③①、②の実現により「誰一人取り残さない防災体制」を構築し、障害者とその家族がいつまでも安心して暮らせる芽室町を目指す

【課題・政策】

- 障害者に配慮した福祉避難所の充実
- 福祉避難所に指定される事業者への支援と連携
- 避難行動要支援者ごとに作成する支援計画策定が進んでいない

[工程詳細]

項目	R 5 年度		R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
実態把握・調査			→						
意見聴取・交換の場の設定			→						
先進事例等の調査研究			→						

[R 5 年度評価] ⇒

進捗状況										
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R 6 年度評価] ⇒新規

進捗状況										
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R 7 年度評価] ⇒

進捗状況										
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R 8 年度評価] ⇒

進捗状況										
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										